

EU Indicators

欧州経済指標コメント：11月ユーロ圏消費者物価（速報）

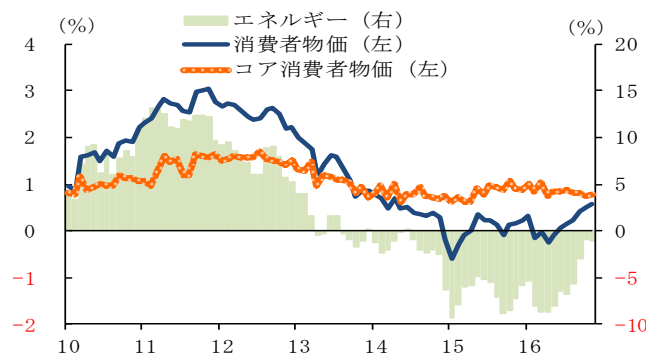
発表日：2016年11月30日（水）

～買い入れ延長決定を覆すものではない～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

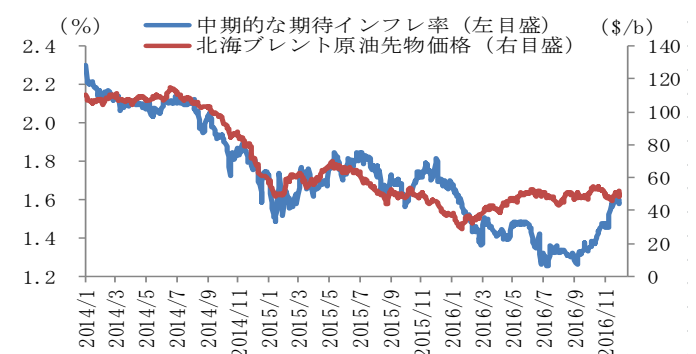
- 11月のユーロ圏の消費者物価の速報値は前年比+0.6%と前月（同+0.5%）から上昇率が加速した。コア物価（同+0.8%）と4ヶ月連続で横這い推移を続けるなか、縮小が目立ったエネルギー価格（前月：同▲0.9%→今月：同▲1.1%）の下落率が僅かに拡大した一方、生鮮食料品を中心に食料・アルコール・たばこ価格（同+0.4%→同+0.7%）の上昇率が僅かに加速し、全体の計数を押し上げた。
- 現時点で公表されている国別の消費者物価（何れもEU統一基準）は、ドイツ（同+0.7%）とスペイン（同+0.5%）の上昇率が前月から不変、フランス（同+0.5%→同+0.7%）の上昇率が加速し、前月にマイナス圏に再転落したイタリア（同▲0.1%→+0.1%）が再びプラス圏に浮上した。
- 英国民投票後に過去最低圏に低下したユーロ圏の中期的な期待インフレ率は、原油相場の底入れに数ヶ月遅れて底離れした後、米大統領選後に一段と上昇し、1.6%前後にまで回復した。このところの長期金利上昇により資産買い入れ対象不足への不安が和らいだことも加わり、追加緩和の切迫感はやや後退した。ただ、コア物価は引き続き緩慢で、期待先行のトランプ・ラリーの持続力にも不安が積みまとう。ドラギ総裁を始め多くのECB高官は、景気や物価の下振れへの警戒姿勢を崩しておらず、12月8日のECB理事会では量的緩和の延長と技術条件の見直しが決定されるとの見方を維持する。

■ユーロ圏：消費者物価（前年比）



注：コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く
 出所：Eurostat

■ユーロ圏：期待インフレ率と原油相場



注：期待インフレ率は5年先5年物スワップ金利より計算
 出所：Bloombergより第一生命経済研究所が作成

■ユーロ圏の消費者物価（%）

	2015				2016											
	4Q	1Q	2Q	3Q	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月			
消費者物価（前期比）	-0.1	-0.4	0.4	0.3	0.3	0.0	0.3	0.2	0.0	-0.0	0.1	0.2	-			
（前年比）	0.2	0.0	-0.1	0.3	-0.0	-0.2	-0.1	0.1	0.2	0.2	0.4	0.5	0.6			
コア消費者物価（前年比）	1.0	1.0	0.8	0.8	1.0	0.7	0.8	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8			
食料/アルコール/たばこ（前年比）	1.4	0.8	0.9	1.1	0.8	0.8	0.9	0.9	1.4	1.3	0.7	0.4	0.7			
食料（前年比）	1.3	0.6	0.6	0.9	0.6	0.6	0.6	0.6	1.3	1.1	0.4	0.0	-			
アルコール（前年比）	0.7	0.9	0.9	0.9	0.6	1.0	0.9	0.9	0.8	0.8	1.0	1.1	-			
たばこ（前年比）	3.0	2.2	2.5	2.3	1.9	2.0	2.7	2.7	2.4	2.3	2.3	2.3	-			
エネルギー（前年比）	-7.2	-7.4	-7.7	-5.1	-8.7	-8.7	-8.1	-6.4	-6.7	-5.6	-3.0	-0.9	-1.1			

注：消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。